

書誌第102号追

本州北西岸水路誌

追補第6

令和6年（2024）12月20日発行



海上保安庁

本州北西岸水路誌

追補第6

この追補は、令和4年3月刊行の本州北西岸水路誌の記載事項を更新するもので、令和6年12月9日までに入手した資料を基に編集したものです。

追補は、更新情報を記載した「本文」と、それを検索するため、ページ番号等を記載した「索引」から構成されています。

「索引」については、更新箇所の表題や港名等を記載し、ページ番号順に並べています。

「本文」については、本追補の更新箇所は、灰色背景で赤色文字にて示しています。

【】で囲んだ内容は、削除や差し替えを行うことを意味しています。

図の挿入等によりページ内に収まらない場合は、水路誌本誌とのページ番号を整合させるため、追補においては、便宜的に枝番号を付しています。

令和6年12月20日

海上保安庁海洋情報部

注 意

海上保安庁は、各国が発布した諸法規、宣言、海図及び水路通報・航行警報並びに船舶等からの視認報告のうち、船舶交通の安全の確保と海洋環境の保全という観点から、航海の安全及び環境保全に影響を与える可能性のある情報については、水路通報及び航行警報により周知するほか、海上保安庁の海図その他の航海用刊行物にも掲載するようにしています。

これらの情報を利用するにあたっては、海上保安庁によるこれらの情報提供は、航海の安全等のための利用を目的としており、その内容は日本政府がこれらの諸法規、宣言等を承認したことを意味するものではない点に留意してください。

ページ	更新箇所 (表題、港名等)	備考
88	松江港	追補第2の当該ページは無効
93	田後《タジリ》港	追補第2の当該ページは無効
127	蛸島漁港	
128	飯田港	
130	小木港	
131	宇出津港	
135	七尾港	
137	大泊鼻～生地鼻 {富山湾}	
140	伏木富山港 国分区及び付近	
141	伏木富山港 伏木区及び付近	追補第5の当該ページは無効
143	伏木富山港 新湊区及び付近	追補第5の当該ページは無効
144	伏木富山港 富山区及び付近	
148	姫川港	追補第2の当該ページは無効
150	直江津港	追補第5の当該ページは無効
157	新潟港 西区及び付近	追補第5の当該ページは無効
171	酒田港	追補第4の当該ページは無効
181	飛島漁港	

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
島根県松江県土整備事務所 広瀬土木事業所	0854-32-2031		

松江港 (35° 27.3' N 133° 08.4' E) (海図W1174 分図) (JP MTE)



(2020年6月撮影)

港種 港則法適用港

概要 宍道湖の東部、中海の西部及び両者を結ぶ大橋川を港域とする港である。大橋川河口右岸は通称馬潟地区と呼ばれている。

目標 大橋川河口右岸 (35° 27.1' N 133° 08.2' E) にある多数のタンク、サイロ及び煙突 (3本) は目標になる。

架橋 大橋川河口に中海大橋 (35° 27.1' N 133° 07.5' E) (高さ約17m) がある。

水路 港界付近から馬潟岸壁に至る水路 (幅約50m) は灯浮標及び浮標で示され、大橋川河口から同川上流にある、くにびき大橋 (35° 28.0' N 133° 03.6' E) までの水路は、水深4mに掘下げられているとい
うが、通航には注意を要する。

港湾施設

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (t×隻)	備考
馬潟地区 馬潟岸壁	35° 27.2' N 133° 08.2' E	280	3~5	1,000×4	クレーン 鉤産品、セメント、木材
松江地区 東朝日町物揚場	35° 27.9' N 133° 04.3' E	170	3	500×2	遊覧船 (19t) 発着場

上表のほか、会社専用の栈橋がある。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
中国運輸局島根運輸支局	0852-38-8111	島根県松江県土整備事務所	0852-32-5719
広島出入国在留管理局松江出張所	0852-21-3834		

港湾施設

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
-4.5m岸壁	35° 35.7' N 134° 18.9' E	180	3~4	500×3	
-4.5m岸壁	35° 35.7' N 134° 19.0' E	125	未測	500×2	
-4.5m岸壁	35° 35.7' N 134° 19.2' E	80	未測		
-4.5m岸壁	35° 35.6' N 134° 18.9' E	60	3~5	500×1	2基の油タンクがある。

錨地 船だまり内は、底質砂で錨かきが良いという。東寄りの風及び北西風が強く吹くときは、波浪が侵入するが、その他の風はよく防ぎ、特に奥部の船だまり内はすべての風をよく防ぐ。また、北西風の強吹時には、鶴島付近に三角波が生じるという。

補給 地元漁船を対象にした清水、燃料油及び氷の補給施設がある。

医療施設

名称	電話番号	備考
岩美町国民健康保険岩美病院	0857-73-1421	

余部埼～経ヶ岬 (海図W139、W1188)

概要 この間の約35Mは、数か所に砂浜があるほかは、山が海に迫りほとんどがけである。

久美浜港(35° 38.1' N 134° 55.0' E)(港則法適用港)(JP KMH)の東北東方約6Mに浅茂川港(35° 41.6' N 135° 01.0' E)(港則法適用港)(JP AMG)があり、浅茂川港の北東方約5Mに間人《タイザ》港(35° 44.6' N 135° 05.5' E)(港則法適用港)(JP TZA)がある。更に、間人港の東方約4.3Mに中浜港(35° 45.8' N 135° 10.9' E)(港則法適用港)(JP NKJ)がある。

目標

地物名	概位	備考
白石島	35° 39.6' N 134° 38.2' E	高さ60mの円形の島。周囲は白いがけで、北岸に奇岩が多い。
猫埼	35° 40.4' N 134° 45.9' E	樹木が密生し、北端に灯台がある。猫埼のある細長い半島(中央の高さ141mの山は東・西方から離島のように見える)は砂地の地峡によって陸地と連続する。
兜《カブト》山	35° 36.8' N 134° 54.7' E	高さ192m、顕著
穴埼	35° 41.5' N 134° 59.2' E	がけの岬で、西側の崩れたがけは遠望顕著。
犬ヶ埼	35° 45.4' N 135° 08.3' E	円頂の岬で、北側はがけを成し埼端に円すい形のとがった岩があって遠望顕著。
依遅《イチ》ヶ尾山	35° 44.0' N 135° 08.3' E	高さ540m、絶壁の鋭峰
経ヶ岬	35° 46.6' N 135° 13.4' E	円頂で顕著、灯台がある。

漁業 この沿岸距岸5M以内では、9月中旬～翌年4月中旬の間は、地引き網と底引き網の漁業が、常時盛んである。また、距岸5M以内では、春～夏にかけてイカ釣り漁業が行われているので、航行船舶は注意を要する。

目標

地物名	概位	備考
見附島	37° 23.8' N 137° 14.8' E	高さ28m、通称を軍艦島という。
赤埼	37° 21.5' N 137° 16.0' E	灯台がある。

錨地 西風の際は、赤埼北方約1M付近の適当な水深の所に、底質泥の好泊地が得られるが、多数の刺網が設置されているので注意を要する。

蛸島漁港 (37° 26.3' N 137° 18.3' E) (海図W1156^B)

(2020年12月撮影)

概要 飯田湾の北部にある漁港で、春の漁期には他府県からの漁船の出入りが多い。緑剛埼に近く、北西風を防ぐので避泊地としても利用される。

目標

地物名	概位	備考
漁業組合	37° 26.3' N 137° 18.5' E	白色、3階建
山王の森	37° 26.3' N 137° 18.7' E	漁業協同組合の東側

注意 漁港の東方約1Mから南東方へ約1M延びる定置網がある。

係船施設 港内の東側に1~4号岸壁、1~2号物揚場(水深2~3m)があり、西側に5~6号岸壁(水深4~5m)がある。令和6年能登半島地震により、1号、5号岸壁及び2号物揚場は倒壊している。

補給 清水、燃料油及び氷の補給ができる。

飯田港 (37° 25.8' N 137° 16.1' E) (海図W1156^B、W1170) (JP IDA)

(2020年12月撮影)

港種 港則法適用港

概要 飯田湾の北西部にある港である。

目標

地物名	概位	備考
珠洲市役所	37° 26.2' N 137° 15.6' E	白色、5階建

針路法 飯田港東南東方約 1.7M (長さ、南東方へ約 1M)、南東方約 1.5M (長さ、南東方へ約 0.3M) 及び南南東方約 2.5M (長さ、東方へ約 1M) にある定置網に注意しつつ、港口に針路 310° で向かう。

港湾施設

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
公共岸壁	37° 26.0' N 137° 15.8' E	100	4~5.5	2,000t×1	岸壁倒壊
-4.5m岸壁	37° 25.9' N 137° 15.8' E	300	5~6.5	500×1	西防波堤基部北側

医療施設

名称	電話番号	備考
珠洲市総合病院	0768-82-1181	

港湾施設

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
-4.5m岸壁	37° 17.9' N 137° 14.0' E	200	2.5~4.5	—	西防波堤基部の北西方

錨地 荒天時には、多くの漁船が九十九湾に避難するという。

なお、湾内は狭隘なので、注意を要する。

~~海事関係官公署【表の削除】~~

官公署名	連絡先
能登海上保安署	0768-74-8118

補給 清水、燃料油及び水の補給ができる。

修理 鉄工所がある。

海上交通 4~11月、九十九湾周遊の遊覧船便がある。

高倉漁港 (37° 17.7' N 137° 13.0' E)



(2020年12月撮影)

概要 小木港の西方約1Mにある漁港で、沖合及び沿岸漁業の基地となっている。船だまりは南東方へ開いており、同船だまり内の北東側~北西側に-4.5m岸壁(延長400m)がある。

宇出津《ウシツ》港 (37° 18.2' N 137° 09.2' E) (海図W1156^B) (JP UST)

(2020年12月撮影)

港種 港則法適用港

概要 小木港の西方約4Mにある港で、港内は南を除く各方向からの風を防ぎ、600t以下の船舶の好泊地になる。建設資材などの取扱い港として、また漁船の出入りも多い港である。

目標

地物名	概位	備考
学校	37° 18.0' N 137° 09.0' E	能登高校、3階建

針路法 港口東西両側の定置網を避けるため、宇出津灯台(37° 18.0' N 137° 09.1' E)を344°に見る針路で接近し、南第1防波堤先端に向首して入港する。なお、小型漁船の出入港が多いので、注意を要する。

港湾施設

名称	概位	長さ(約m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考
12号物揚場	37° 18.0' N 137° 09.2' E	200	3.5	—	南第1防波堤基部の南側
13号物揚場	37° 17.8' N 137° 09.0' E	160	3~5	—	西防波堤基部の北側
14号物揚場	37° 17.9' N 137° 08.7' E	200	2.5~5.5	—	13号物揚場の西方

海事関係官公署【表の追加】

官公署名	連絡先
能登海上保安署	0768-62-3118

補給 清水、燃料油及び氷の補給ができる。

修理 小造船所及び鉄工所がある。

医療施設

名称	電話番号	備考
公立宇出津総合病院	0768-62-1311	

水先 七尾水先区水先人会に要請する。(第1編総記 第6章水先参照)

航泊制限 一般船舶は、港内に引火性危険物積載タンカー(タンク船を含む)が停泊している間、同タンカーから30m以内の水面に立ち入ってはならない。なお、同タンカーは「引火性危険物積載中」と表示された垂れ幕等を掲げている。

港湾施設

名称		概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
大田 ふ頭	大田物資別専門岸壁	37° 03.5' N 136° 59.5' E	185	未測	—	岸壁倒壊
	大田2号岸壁	37° 03.5' N 136° 59.6' E	185	9.5~10	15,000×1	
	大田3号岸壁	37° 03.5' N 136° 59.4' E	260	11.5	18,000×1	
大田けい船杭		37° 03.6' N 136° 59.8' E	200	10	12,000×1	
第2ふ頭東側岸壁		37° 03.1' N 136° 58.8' E	165	9	10,000×1	
第1 ふ頭	東側栈橋	37° 03.1' N 136° 58.6' E	180	未測	—	一部岸壁倒壊
	西側栈橋	37° 03.1' N 136° 58.5' E	220	7.5	旅客船 15,000×1 貨物船 6,000×1	耐震岸壁

上表のほか、小泉埼の南南東方約0.5MにENEOSグローブガスターミナル栈橋(係船能力60,000D/W×1隻)及び雌島東南東方0.5M付近に北陸電力七尾大田火力発電所専用栈橋(係船能力2,000~60,000D/W×3隻)がある。

最大入港船舶 2018年2月11日、貨物船AKATSUKI(57,036t、喫水14.4m)が北陸電力七尾大田火力発電所専用栈橋(37°04.2'N 137°00.2'E)に着栈した。

錨地 港内は浅瀬が点在し、錨地としては狭隘である。第2区にある検疫錨地付近は、水深約17m、底質泥で北西の風を防ぎ5,000t以下の船舶の錨泊に適する。第2区から第3区にまたがる水深10m以上の場所は、1,000t以下の船舶が多く利用する。

危険物積載船が錨泊するときは、第2区又は第3区に錨泊しなければならない。

錨泊上の注意 港内の水深は比較的浅く検疫錨地の水深は、17m前後であり、南西の強風が連吹した場合、走錨のおそれがある。港内一帯は、へドロが堆積した状態であり、錨かきが悪いので注意を要する。七尾港第13号灯浮標(37°05.3'N 136°59.7'E)を中心とする半径600mの円内海域及び大瀬灯浮標(37°05.2'N 136°58.3'E)を中心とする半径約350mの円内海域は、それぞれ大型船が変針する海域であるため、この海域を避けて錨泊する必要がある。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、七尾港台風等・津波対策協議会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している(問合せ先:七尾海上保安部)。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
七尾海上保安部(港長)	0767-53-7118	石川県七尾港湾事務所	0767-53-0440
大阪税関金沢税関支署 七尾出張所	0767-52-0689	北陸信越運輸局 石川運輸支局七尾庁舎	0767-53-1120

引船 引船がある。

補給 清水及び燃料油が補給できる。給油船は伏木富山港から来る。

修理 造船所が数社あり、400t以下の船舶を造修できる。

潮流 大泊鼻では、上げ（下げ）潮流は南東方（北西方）へ流れるが、流速は 0.5kn 以下である。

注意 富山湾の沿岸には、季節によって至る所に定置網が設置され、距岸 2~3M に達する。一般に海岸線と直角で最も沖合に魚だまりがあり、昼間は木材などの浮木によってその所在を知ることができるが、夜間は灯火のないものもあるので注意を要する。夜間は、距岸 4M 以内に入らないほうがよい。

また、湾内の各港に寄港する場合は、出港後、一度漁網の設置区域外に出て、次の港の沖合に達した後に、改めてこれに向かうとよい。

春季の雪解けころには海水が黄色に濁って、漁網に付けてある浮標を認めるのに困難なことがあるので、注意を要する。

寄り回り波 富山湾特有のうねり性の高波を「寄り回り波」という。主に冬季に、日本海北部で低気圧によって発生した波が伝播して「うねり」となって富山湾に到達するが、低気圧が去って半日から 1 日ほど経って、富山湾の風や波が比較的静かになった頃に大きなうねりとなって突如来襲することから、古来より多くの被害が発生している。

日本海から富山湾の奥にまでのびる海域は 1000m 以上の深海域のため、うねりのエネルギーを減衰させることが少なく、沿岸部では水深が急激に浅くなることから大波となる。

この「寄り回り波」は、富山湾沿岸全域に押し寄せるものと、湾内の海底谷の影響で氷見、伏木、滑川等海岸で局所的に押し寄せる事がある。来襲には時間差があり、あたかも各地を寄って回るように来襲するため「寄り回り波」と言われている。

2008 年 2 月 23 日から 24 日にかけて、発達した低気圧の影響によるうねりを伴った高波で、伏木富山港では、伏木地区の防波堤 全長 1,500m のうち約 800m にわたって消波ブロックの散乱や防波堤ケーソンの滑動等の被害があった。また、富山県内では死傷者 18 名、家屋全半壊 57 棟、浸水 161 棟等の被害を受けた。

港船舶に対し、余裕水深（喫水×1/10+波高×2/3）を確保するよう指導されている。

港湾施設

名 称	概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
国分1号岸壁	36° 48.1' N 137° 03.5' E	95	4.5	2,000×1	石油製品
国分2号岸壁	36° 48.1' N 137° 03.4' E	65	3~4.5	1,000×1	石油製品
国分3号岸壁		140	3~4	1,000×2	

補給 清水の補給ができる。

岩崎ノ鼻付近



北東方から岩崎ノ鼻を望む

伏木区及び付近（海図W1162^A）



(2020年9月撮影)

概要 小矢部川の河口に位置し、古くから対岸貿易港として栄えた港である。背後は臨海工業地帯で、主な輸出入貨物は石油製品、木材などである。春の雪解け時及び河川の増水時には、河口の流速が3~4knに達する。

また、海水が黄色に濁るので、定置網などの標識の視認が困難となることがある。川の流れと風により異常な波浪が起こる。

航路 港界から伏木区に至る伏木航路（長さ約2.2M、幅約350~550m）があり、屈曲部付近に灯浮標

がある。伏木指向灯（白光、227.9° を中心とする幅5°）は可航水路を示している。

架橋 小矢部川河口付近に伏木万葉大橋（36° 47.3' N 132° 03.5' E、高さ約9m）がある。

入港上の注意 伏木航路両側に大型定置網が多数設置されており、大型船が航行できる場所が限られている。可航幅を示すための指向灯が設置されているので、この範囲から逸脱しないよう注意が必要である。

また、小矢部川の東側にある庄川を小矢部川と誤認しないようにすること。小矢部川上流からの流砂により、水深が減少する。

港湾施設

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
左岸1～2号岸壁	36° 47.6' N 137° 03.8' E	310	5～8	10,000×2	
左岸3～4号岸壁	36° 47.5' N 137° 03.6' E	370	2.5～4.5	15,000×2	
左岸5号岸壁	36° 47.4' N 137° 03.5' E	90	2	1,000×1	
右岸1～2号岸壁	36° 47.5' N 137° 04.0' E	440	3～5	5,000×4	
右岸3～4号岸壁	36° 47.5' N 137° 03.8' E	370	3～4.5	15,000×2	クレーン1基
右岸5号岸壁	36° 47.4' N 137° 03.7' E	130	2～2.5	5,000×1	
万葉1号岸壁	36° 48.1' N 137° 04.0' E	170	7～9.5	5,000×1	
万葉2号岸壁		150	9.5～10	10,000×1	
万葉3号岸壁	36° 48.2' N 137° 03.9' E	280	12～12.5	30,000×1	ガントリークレーン1基 耐震岸壁

最大入港船舶 2023年7月6日、客船 MSC ベリッシマ（171,598 t、喫水 8.7m）が万葉3号岸壁に着岸した。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
伏木海上保安部（港長）	0766-44-0196	新潟検疫所伏木富山出張所 （富山空港出張所へ連絡）	076-428-4160
大阪税関伏木税関支署	0766-44-6173	名古屋植物防疫所伏木富山支所	0766-44-0954
北陸信越運輸局富山運輸支局	0766-44-1367	富山県伏木港事務所	0766-44-0277

通船 通船がある。

補給 清水の補給ができる。給水船及び給油船がある。

修理 小造船所がある。

廃油処理施設

事業者名	申込先	利用時間	処理する廃油の種類	
			廃重質油	廃軽質油
(株)ダイセキ	北陸事業所 076-275-6585	0900 ～ 1600	水バラスト、スロップオイル、 コレクトオイル、タンク洗浄 水、ビルジ、スラッジ、その他	水バラスト、タンク洗浄水、 スロップオイル、スラッジ、 その他

医療施設

名称	電話番号	備考
高岡市民病院	0766-23-0204	
高岡ふしき病院	0766-44-1181	

港湾施設

名称	概位	長さ(約m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考	
公共ふ頭	中央1号岸壁	36° 46.1' N 137° 06.6' E	280	14	55,000×1	クレーン
	中央2号岸壁	36° 46.1' N 137° 06.5' E	280	9.5~10	55,000×1	クレーン
	中央3号岸壁	36° 46.1' N 137° 06.4' E	275	9.5~10	15,000×1	クレーン
	中央5号岸壁	36° 46.2' N 137° 06.1' E	130	7.5	5,000×1	
	中央6号岸壁	36° 46.2' N 137° 06.1' E	130	7.5	5,000×1	
	中央7号岸壁	36° 46.2' N 137° 06.0' E	60	4	700×1	
	中央8号岸壁	36° 46.2' N 137° 05.9' E	60	未測	700×1	
	北1号岸壁	36° 46.4' N 137° 06.3' E	280	12~13	30,000×1	ガントリークレーン 耐震岸壁
北2号岸壁	36° 46.4' N 137° 06.1' E	185	7~10	15,000×1		
北3号岸壁	36° 46.4' N 137° 06.0' E	60	5~5.5	700×1		
北4号岸壁	36° 46.4' N 137° 06.5' E	128	12	30,000×1	ガントリークレーン	
南水路栈橋	36° 46.0' N 137° 06.7' E	36	6	3,000×1		
東1号岸壁	36° 45.4' N 137° 07.8' E	185	8~9.5	15,000×1		
東2号岸壁	36° 45.5' N 137° 07.7' E	185	6~8.5	15,000×1		
海王岸壁	36° 46.7' N 137° 06.6' E	220	7	15,000G/T×1		

最大入港船舶 2018年10月4日、LNG船SERI ALAM (95,729 t、喫水12.43m) が北陸電力富山新港火力発電所LNG受入栈橋に着岸した。

停泊地 新湊航路東側に新湊沖船舶停泊地東A~C (36° 47.3' N 137° 08.7' E) 及び新湊沖船舶停泊地西A~C (36° 47.4' N 137° 08.3' E) の6灯浮標で囲まれる停泊地がある。日没から日出までの間、停泊禁止である。停泊地東西の定置網の設置に注意すること。

海事関係官公署

官公署名	連絡先
富山県富山新港管理局	0766-84-8292

医療施設

名称	電話番号	備考
射水市民病院	0766-82-8100	

海上交通 新湊大橋南側の水路を横断する渡船(通称 越ノ潟フェリー) (44 t、46 t) が頻繁に運行されている。

富山区及び付近 (海図W1162^A)

(2020年9月撮影)

概要 神通川河口東側の旧河口に築造された内港で、石油及び木材基地がある。北陸、北海道間のコンテナ船が定期的に入出している。

内港の奥部から南方へ約 5km の間に、富岩《フガン》運河が~~あり貯木場として利用されている~~。また内港の東岸から東方へ約 1km の間に岩瀬運河があり、プレジャーボート等の係留施設として利用されている。運河内の水深は、各 2m 以下である。

潮汐 この港における平均高高潮は 0.3m、平均低低潮は 0.1m、平均水面は、0.22m である。

目標

地物名	概位	備考
煙突	36° 45.5' N 137° 12.8' E	高さ約 160m、青白塗、火力発電所構内

航路 北方の港界から富山区に至る富山航路（長さ約 1.2M、幅約 300m）がある。

入港上の注意 神通川の河口付近は水深が変化しやすく、流れに注意する。

港湾施設

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考	
公共岸壁	1号岸壁	36° 45.6' N 137° 13.7' E	185	8.5~9.5	15,000×1	
	2号岸壁	36° 45.5' N 137° 13.6' E	185	未測	15,000×1	耐震岸壁工事中
	3号岸壁	36° 45.4' N 137° 13.6' E	185	8.5~9	15,000×1	コンテナ船用
	4号岸壁	36° 45.3' N 137° 13.6' E	160	8.5~9	10,000×1	
	5号岸壁	36° 45.3' N 137° 13.6' E	180	5.5~7	5,000×1	
	6号岸壁	36° 45.3' N 137° 13.4' E	90	2.5~5	3,000×1	
	7号岸壁		130	6.5~7	5,000×1	
	8号岸壁	36° 45.4' N 137° 13.4' E	185	8~9	15,000×1	
	9号岸壁	36° 45.5' N 137° 13.4' E	70	4	1,000×1	
	10号岸壁	36° 45.8' N 137° 13.7' E	130	7.5	5,000×1	
	1号ドルフィン	36° 45.5' N 137° 13.4' E	21	4	1,000×1	
	2号ドルフィン	36° 45.6' N 137° 13.5' E	12	5	3,000×1	
	3号ドルフィン	36° 45.7' N 137° 13.5' E	21	4	1,000×1	

シーバース 富山西防波堤灯台の北西方約 1.6M に、日本海石油シーバース (36° 47.2' N 137° 12.4' E) (富山日本海石油シーバース灯・モールス符号白光毎 8 秒に U(・・-)、霧信号) がある。同シーバースの半径 285m の円内海域には、フローティングホースが設置されている。

最大入港船舶 2005 年 9 月 23 日、タンカー KAIMON II (160,079 t、喫水 22.0m) が日本海石油シーバースに着岸した。

錨泊上の注意 「あいがめ」(大泊鼻～生地鼻の概要参照)があるので、投錨の際は注意を要する。検疫錨地 (36° 46.3' N 137° 14.0' E) 付近は、北東の風が連吹する際には、走錨のおそれがあり錨泊には適さない。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
伏木海上保安部富山分室	076-426-2118	名古屋出入国在留管理局富山出張所 (富山空港国内線ターミナルビル内)	076-495-1580
大阪税関伏木税関支署富山出張所	076-437-9895		
富山県富山港事務所	076-437-7131		

概要 富山湾口の生地鼻東方約22Mにある港で、セメント、石炭などを取り扱う糸魚川経済圏の物流拠点港となっている。掘込式の港湾で、港内は東ふ頭地区（漁港区）、中央ふ頭地区、南ふ頭地区及び西ふ頭地区に分かれている。

西ふ頭では大改修工事が行われている。

目標

地物名	概位	備考
サイロ	37° 02.3' N 137° 50.3' E	4基、セメント用

水先 水先法にいう水先区ではないが、新潟水先区水先人会が要請に応じる。（第1編総記 第6章水先参照）

港湾施設

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考	
東ふ頭岸壁	37° 02.5' N 137° 50.6' E	60	3	700×1		
南ふ頭岸壁	37° 02.3' N 137° 50.5' E	90	5~5.5	2,000×1		
中央ふ頭	1号岸壁	37° 02.4' N 137° 50.3' E	130	7.5	5,000×1	セメント船専用
	2号岸壁	37° 02.3' N 137° 50.4' E	130	7~7.5	5,000×1	
	3号岸壁		130	7	5,000×1	
	4号岸壁	37° 02.3' N 137° 50.5' E	130	7	5,000×1	
	5号岸壁	37° 02.4' N 137° 50.5' E	165	9	10,000×1	セメント船専用 移動クレーン
西ふ頭	1号岸壁	37° 02.4' N 137° 50.3' E	170	8~10	10,000×1	耐震岸壁 セメント船専用
	3号岸壁	37° 02.5' N 137° 50.2' E	170	9.5	19,000×1	
危険物取扱岸壁	37° 02.4' N 137° 50.2' E	100	9~9.5	2,000×1	化学薬品船専用	

最大入港船舶 2020年6月8日、貨物船 HELIOS (13,060 t、喫水 8.85m) が、中央ふ頭5号岸壁に着岸した。

海事関係官公署

官公署名	連絡先
新潟県糸魚川地域振興局地域整備部	025-553-1976

引船 引船が、直江津港から来る。

補給 清水の補給ができる。東ふ頭に漁協の給油施設がある。

医療施設

名称	電話番号	備考
糸魚川総合病院	025-552-0280	

	1号岸壁	37° 11.4' N 138° 15.4' E	130	9.5	5,000×1	
	2号岸壁		240	8~10.5	15,000×1	
	3号岸壁	37° 11.5' N 138° 15.4' E	185	8~10	15,000×1	
	4号岸壁	37° 11.6' N 138° 15.5' E	170	10	12,000×1	ガンントリークレーン、耐震岸壁
	5号岸壁	37° 11.7' N 138° 15.7' E	130	6	5,000×1	危険物用
	漁港区岸壁	37° 11.8' N 138° 16.0' E	385	4.5~7	256t×1	
中央ふ頭	1号岸壁	37° 11.1' N 138° 15.1' E	130	4~5	5,000×1	
	2号岸壁	37° 11.2' N 138° 15.0' E	185	8~8.5	15,000×1	
	鉱産品岸壁	37° 11.4' N 138° 15.2' E	270	11.5~13	50,000×1	
	木材岸壁	37° 11.3' N 138° 15.3' E	185	8~10	15,000×1	
内貿ふ頭 北岸壁	2号	37° 11.1' N 138° 15.2' E	60	3.5~4.5	700×1	
	3号	37° 11.1' N 138° 15.3' E	120	2.5~4	700×1	
内貿ふ頭 南岸壁	1号	37° 11.0' N 138° 15.1' E	200	7.5~9.5	6,000t×1	佐渡汽船用、耐震岸壁
	3号	37° 11.0' N 138° 15.2' E	75	4.5	700×1	
	4号	37° 11.0' N 138° 15.2' E	120	4~4.5	700×1	
	5号	37° 11.0' N 138° 15.3' E	60	3	700×1	
西ふ頭	1号	37° 11.0' N 138° 14.9' E	174	7~8.5	15,000×1	アンローダ1基
	2号	37° 11.1' N 138° 14.9' E	185	7.5~8.5	15,000×1	

最大入港船舶 2022年、LNG船 武州丸 (149,367 t、喫水 11.5m) が JERA 上越火力発電所 LNG 受入棧橋に着岸した。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、直江津港船舶津波・台風等対策協議会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している（問合せ先：上越海上保安署）。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
上越海上保安署（港長）	025-543-4118	新潟検疫所直江津出張所	新潟空港出張所 025-275-4615 へ連絡
東京税関新潟税関支署直江津出張所	025-543-2388		
横浜植物防疫所新潟支所 直江津出張所	025-543-0648	新潟県上越地域振興局 直江津港湾事務所	025-543-4167

引船 引船がある。

補給 清水及び燃料油の補給ができる。

修理 修理所はあるが、上架施設はない。

医療施設

名称	電話番号	備考
上越総合病院	025-524-3000	
新潟労災病院	025-543-3123	

海上交通 小木港 {佐渡島} との間にカーフェリー (2,483 t) 便がある。(冬季運休)

港湾施設

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考	
山の下ふ頭	北側岸壁	37° 56.5' N 139° 04.0' E	330	6.5~8.5	10,000×2	南・北両側は浅い。
	南側岸壁	37° 56.3' N 139° 04.1' E	260	6.5~8.5	5,000×2	カーフェリー用 耐震岸壁(港口側 30m)
通船川右岸岸壁		37° 56.2' N 139° 04.1' E	90	3~4	2,000×1	
通船川左岸岸壁		37° 56.2' N 139° 04.1' E	95	3	700×1	
北ふ頭	1号岸壁	37° 56.1' N 139° 04.0' E	330	8~8.5	10,000×2	
	2号岸壁	37° 56.0' N 139° 04.0' E	97	6	5,000×1	
東ふ頭岸壁		37° 55.9' N 139° 04.0' E	231	5.5~6.5	5,000×2	
中央ふ頭	北側岸壁	37° 55.9' N 139° 03.9' E	294	8~8.5	10,000×2	
	先端岸壁	37° 56.0' N 139° 03.9' E	137	6.5~8	5,000×1	カーフェリー用
	南側岸壁	37° 55.8' N 139° 03.9' E	307	6.5~7	5,000×2	
南ふ頭岸壁		37° 55.7' N 139° 03.9' E	288	5.5~7	5,000×2	
万代ふ頭	ふ頭岸壁	37° 55.6' N 139° 03.7' E	391	3~6	3,000×3	
	石油棧橋	37° 55.7' N 139° 03.8' E	30	—	2,000×1	供用停止中
	先端岸壁	37° 55.8' N 139° 03.8' E	90	4.5~5.5	300×2	ジェットオイル用
	万代島信濃川右岸第1バース岸壁	37° 55.8' N 139° 03.7' E	193	4.5~6.5	6,000×1	カーフェリー用
	万代島信濃川右岸第2バース岸壁	37° 55.7' N 139° 03.6' E	193	4~5	6,000×1	カーフェリー用
	万代島信濃川右岸第3バース岸壁	37° 55.6' N 139° 03.6' E	136	3~5	2,000×1	南・北両側は浅い。

上記のほか、臨港ふ頭がある。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
第九管区海上保安本部	025-285-0118	東京税関新潟税関支署	025-244-9312
新潟海上保安部(港長)	025-244-1008	新潟検疫所(本所)	025-241-2323
北陸信越運輸局(本局)	025-285-9156	横浜植物防疫所新潟支所	025-244-4401
東京出入国在留管理局新潟出張所 (新潟空港ターミナルビル内)	025-275-4735	新潟県新潟地域振興局 新潟港湾事務所	025-247-9131

補給 給水施設及び給油船がある。

修理

造船所名	電話番号	備考
新潟造船(株)新潟工場	025-222-6121	

酒 田 港 (38° 56.5′ N 139° 48.1′ E) (海図W145、W1160) (JP SKT)



(2020年8月撮影)

港種 特定港、開港、検疫港、出入国港、家畜検疫の港、植物検疫の港、重要港湾

概要 新潟港と秋田船川港のほぼ中間にある港で、港内は第1区、第2区及び第3区に分かれている。

この港は元来、最上川河口に発達した河口港であるが、河流の影響が大きかったので河口を分離して現在の形となり、北港地区及び本港地区に分かれている。

第2区の入口は狭く（可航幅約190m）北北西方へ開き、冬季は波浪と吹雪のため入港が困難になることがある。

気象 冬季の季節風は、しばしば暴風雪となって吹き続ける。強風日数（最大風速10m/s以上）は、年間約90日あるが、このうち約70%が11月～翌年3月の間にある。

3～5月頃、日本海を通過した低気圧が、しだいに発達して太平洋側に抜けるとき、風向が東～南東から急激に西～北西に変化して、酒田付近で大しけとなることがある。

霧は、年間を通じて余り発生しないが、発生しても4～5時間で消散するのが常である。

海難 特に冬季、西～北西の風が強く吹くときには、波高が7～8mに達することがあり、入港は困難となる。

このようなときに、港外の船舶は錨鎖が切断されたり、圧流されて乗り揚げたりした例がある。

目標

地物名	概 位	備 考
煙 突	38° 58.0′ N 139° 49.9′ E	高さ184m、銀色、火力発電所構内
酒田灯台	38° 56.8′ N 139° 49.0′ E	高さ41m、白塔形
塔	38° 55.1′ N 139° 49.7′ E	高さ28m、記念灯台
無 線 塔	38° 54.9′ N 139° 50.1′ E	赤白塗、NTTパラボラアンテナ
風力タービン	38° 55.7′ N 139° 48.9′ E	
風力タービン	38° 55.9′ N 139° 48.8′ E	高さ100m
風力タービン	38° 56.1′ N 139° 48.9′ E	
風力タービン	38° 56.3′ N 139° 49.0′ E	

針路法 第2区、第1区へは、第2北防波堤と南防波堤の中央付近を通過し、針路160°に変針して南防波堤に沿って港奥に進む。

北港地区へは、港口中央を通過後、煙突（目標の項参照）を目標に北港地区北港北防波堤に平行して進み、水路に沿って変針したあと適宜、岸壁に向かう。

入港上の注意 海難の項参照。融雪期の5月及び梅雨期には川が増水し、流れも強くなり、港口付近は

飛島漁港 (39° 11.1' N 139° 33.1' E) (海図W1153)



(2020年8月撮影)

概要 飛島南東岸南部の蛭子前埼(39° 11.0' N 139° 33.0' E)北方の湾入部にある漁港で、蛭子前埼から北東方へ延びる南防波堤があり、**同防波堤**西方に船だまり ~~(水深3.5~5mという)~~がある。

~~船だまりは北東方へ開いているので、北寄りの風が強く吹くときには波浪が侵入し、出入港は困難となる。~~

海上交通 酒田港との間に定期船便(253t)がある。

入道埼～鱸作埼 (海図W1195)

概要 この間の直線距離で約37Mの海岸は、入道埼と鱸作埼とが突出し、湾入の浅い大開湾を形成している。

北部は山地が海岸に迫り、おおむね岩礁の沿布する岩海岸である。鱸作埼の西南西方約17Mの沖合に久六島がある。

南部は男鹿半島の北岸から続く弓形の砂浜で、遠浅で距岸1~2Mで水深20mとなり、底質はおおむね砂であるが、多数の定置網等が設置されている。**北浦港**(39° 57.8' N 139° 47.4' E :海図W1196) (港則法適用港) (JP KJT)、**米代川**河口に能代港がある。

鱸作埼南隣の深浦町岩崎地先の湾(40° 34.8' N 139° 54.6' E)は、北～東方を高地で囲まれ北～東風るときは、この地方で最良の仮泊地になる。

一方、この区域は、冬季、西寄りの季節風に対する遮蔽物がなく、乗揚げ海難が発生し、錨泊に適さないため、秋田及び青森海上保安部では、沿岸海域での錨泊自粛を指導している。

目標

地物名	概位	備考
雄島	40° 22.0' N 140° 00.7' E	高さ13mの小島で、この付近における唯一の島
チゴキ埼	40° 24.9' N 139° 56.9' E	灯台がある。
鱸作《ヘナシ》 埼	40° 36.8' N 139° 51.8' E	岩崎湾を南側基部として、これから西方へ突出する深浦半島の西端で、埼上に灯台があり、埼端にある樁山(高さ56mの小丘)は遠くから小島のように見え、南北方向から非常に顕著

漁業 能代港北西方約17Mの**テリ場**(40° 22.3' N 139° 41.0' E) (水深42m)付近は、1本釣り漁船が周年を通し多数出漁している。また、周辺海域には刺し網漁船が出漁している。